

ムリア原子力発電所計画への支援を拒否

1. 経済産業省
2. 外務省
3. 国際協力銀行（JBIC）
4. 三菱重工業株式会社
5. 株式会社 東芝
6. 株式会社 日立製作所
7. 韓国政府
8. 韓国企業

各位

以下に署名するわたしたちは、日本政府・企業、韓国政府・企業に対し、わたしたちの地域におけるムリア原子力発電所建設計画のため、インドネシア政府を支援しないよう訴えます。

ジュパラの住民として、自分たちの地域が発電産業地域へと変わることに、とりわけ多くの問題を引き起こすであろう原子力発電所建設計画が再燃していることに憂慮しています。ムリア原子力発電所建設計画は、ジュパラとその周辺地域の住民に、大きな不安をもたらしています。

原発事故が起きる可能性は技術的に非常に小さいと言われていたとしても、望ましくない影響が起きないということは絶対ではありません。原発事故がなくても、ジュパラの漁民の生命・生計や工業（家内制工業から工場まで）に危険をおよぼします。ジュパラの人びとへの社会、環境、経済的な打撃は小さくないのです。

ムリア原発は、中ジャワ州ジュパラ県の最北、クンバン郡バロン村、クリン郡ウジュン・ワトゥ村、同郡ウジュン・グレングレンガン村に建設が予定されています。このプロジェクトは、ジャワ島、マドゥラ島、バリ島の電力需要を満たすことが主要な目的です。

ジュパラ県は人口 100 万人以上、面積 10 万 ha であり、人口密度が比較的稠密な地域です。さらに、人びとの生活は自然に依拠しています（農業、木工品、織物）。また、この地は、すでに稼働しているタンジュン・ジャティ B 石炭火力発電所に隣接しているほか、さらに 3 基の石炭火力発電所（4×2、660MW）の建設が予定されてもいます。火力発電所サイトが、建設予定の原発サイトと非常に近いことから、仮に原発事故（放射能漏れ）が起きれば、火力発電所の職員を恐怖に陥れることになり、火力発電所の存在をも危うくするでしょう。

そうすれば、火力発電所そのものが平常に、また最大稼働しなくなってしまいます。

現在ですら、火力発電所によって、とくに漁民にとって、受け入れがたい問題が引き起こされています。たとえば、海に排水する火力発電所のコンデンサー冷却システムは、海洋資源を破壊し、漁民は生計の手段を失っています。

タンジュン・ジャティ火力発電所建設は、ジュバラの人びとにとって、重要な意味をもつものとなりました。つまり、住民を参加させず、環境への配慮もない開発は、人びとの暮らしの源を奪い、人びとに負の影響を与えるということが明らかになったのです。

これが、「電力危機」を理由に、近々ジュバラ県に建設される予定のムリア原発だったらなおさらです。ジュバラは、明らかでない目的のために犠牲にさせられてしまうのです。ムリア原発建設が、非常にリスクの高いものであることを認めなくてはなりません。周辺の人びとの暮らしと収入の源にとって、脅威になるからです。ジュバラ県やその周辺の地域に原発が建設されるのは適切なことではありません。さらに、ムリア山地域は、環太平洋火山帯に位置しているだけでなく、海にまでつづく断層（ラー・タウ断層、トゥンプル断層）のある地域でもあります。

エネルギー資源の豊富なインドネシアで、なぜ電力危機が起きるのでしょうか。多くの人びとが、このことを疑問に感じています。このエネルギー資源は、どのように管理されているのでしょうか。なぜジュバラにムリア原発を建設するという選択になったのでしょうか。電力使用者は、ジャカルタのような大都市にいるのに、なぜそちらに建設されないのでしょうか。これらの問いは、ジュバラの人びとのあいだで、いつも議論されています。そして、草の根の人びとを不安に陥らせています。それどころか、彼らは原子力について何も知らないのです。これに加えて、地元の役人たちからの配慮もありません。そのため、わたしたちジュバラの住民の大多数は、以下を宣言します。

リスクが高く、ジュバラとその周辺住民の暮らしと収入源を脅かすムリア原子力発電所建設計画を拒否します。ムリア原子力発電所建設計画は中止されなくてはなりません。

なぜなら、この計画は、人びとの利益を無視し、「科学」が素晴らしいと想定している人の利益やエネルギー危機説を唱える特定のグループの利益のためだけのものだからです。

わたしたちジュバラ住民は、日本政府、韓国政府、投資をおこなおうとしている企業や金融機関に対し、このムリア原子力発電所メガ・プロジェクトに、いかなる援助（借款その他）も与えないよう訴えます。このメガ・プロジェクトは、コストがかかり、汚く、人び

とを苦しめ、環境にやさしくなく、汚職・癒着・縁故主義に満ちたものだからです。

以上、わたしたちジュバラ住民は訴えます。いかなる理由があっても、原発はムリア地域、そしてインドネシアに建設するに適切ではありません。わたしたちは全会一致で、ムリア原子力発電所建設計画を拒否します！

原発に反対するムリア地域の民衆より

1. H・ヌルディン・アミン（ジュバラ県 NU 代表）
2. リロ・スナルヨ（ジュバラ MAREM）
3. スハルノ（ムリア住民フォーラム）
4. チャス・ゴンド（ジュバラ IPPHTI）
5. スプリアント（環境マネージメント）
6. ディディット・エンドロ（ジュバラ CELSIUS）
7. ホイルル・アナム（ジュバラ LAKPESDAM-NU）
8. ザカリヤ・アンショリ（ジュバラ KISIK）
9. アディブ・ホイルザマン（ジュバラ PK2P）
10. クマイディ（バロン村青年）